

基本目標 2. 子どもの健やかな成長の支援

2-1. 親と子の健康生活の充実

(1) 現状と課題

親と子の健康な生活を充実していくには、妊娠中から出産後までの母子の一貫した健康管理や育児支援を行っていくなど、長期間継続した支援が必要です。

妊産婦については、安心して出産できる環境を整備するとともに、出産後は保護者および乳幼児の健康に関する状況把握などの支援が必要とされています。

しかし、妊娠しても早期に母子健康手帳の交付を受けなかったり、妊婦健康診査を受けない妊婦が少なからず見られます。また、子どもの成長に合わせて、4か月児健康診査、10か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳5か月児健康診査を実施し、子どもの健やかな成長に向けた支援を行うとともに、発達段階に応じた発育・発達の遅れなどの早期発見を行うなど、適切な支援に努めています。しかし、各種健康診査についても、未受診者がいることが課題となっています。

また、子どもの健やかな成長を促すとともに、保護者の育児不安を軽減し、乳幼児・母子の身体面だけでなく、精神面での健康の保持増進を図ることが必要とされています。近年では、少子化や核家族化の進行、地域連帯感の希薄化、共働き家庭の増加などを背景に、育児不安を抱えている家庭や孤立している家庭が多くみられています。

さらに、育児に関する情報を求めている家庭が多く、より一層地域との連携を図り、相談体制の充実と情報の提供や知識の普及・推進が課題となっています。

(2) 基本方針

妊娠期、出産期、新生児期および乳幼児期を通じて母子の健康が保持できるよう、妊婦健康診査、乳幼児健診、新生児訪問、両親学級（ママパパ学級）などの母子保健における健康診査、訪問指導、保健指導などを充実します。特に、親の育児不安の解消を図るため、引き続き、乳幼児健診の場を活用し、親への相談指導を実施するとともに、児童虐待の予防の観点を含め、妊娠期からの継続した支援体制の整備を図ります。

また、各種教室や講座、訪問事業などを活用し、育児不安を抱える家庭の支援に努めます。

(3) 事業の方向性

①母子の健康保持の支援

28	妊婦健康診査 《地域子ども・子育て支援事業》		継続
指標	第1回目の受診率	現状値 (H25) 92.9%	目標値 (H31) 95.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
妊婦健康診査は、妊婦の健康の保持増進を図り、安全・安心な妊娠・出産を迎えられるよう、実施するものです。母子健康手帳交付時に妊婦健康診査、HBs抗原検査、HCV抗体検査、HIV抗体検査、風疹抗体検査、HTLV-1抗体検査、性器クラミジア検査、子宮頸がん検査の助成券を交付しています。 今後も、妊婦健康診査にかかる自己負担の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図ります。			健康課 ＜保健センター＞
29	予防接種		継続
指標	接種率	現状値 (H25) 73.7%	目標値 (H31) 95.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
予防接種は、予防接種法などに基づき、感染症の予防に有効な予防接種（ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、三種混合、不活化ポリオ、BCG、麻しん風しん混合、水痘、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん予防）を実施医療機関での個別接種として実施するものです。※水痘は平成26年10月1日から実施。 今後も、さらに予防接種の種類が増え、内容が複雑化することが予測されるため、実施医療機関との連携を強化し、適切な接種勧奨に努めます。また、予防接種の事故（誤接種）防止、健康被害に対する適切な対応に力を入れ、被接種者が必要な予防接種を安全・適切に受けられるよう、接種履歴データの活用と相談体制の充実を図ります。			健康課
30	母子健康手帳の交付		継続
指標	妊娠11週以内の交付割合	現状値 (H25) 91.7%	目標値 (H31) 93.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
母子健康手帳は、妊娠、出産および育児に関する一貫した健康管理を支援し、母親や乳幼児の健康の保持増進を図るため、必要な指導および助言を行いながら交付するものです。 今後も、妊娠期から乳幼児期までの健康に関する重要な情報の一元管理のため、春日部市保健センターなどにおいて、母子健康手帳を交付します。			健康課 ＜保健センター＞

31	妊婦歯科健康診査		継続
指標	受診率	現状値（H25）	目標値（H31）
		20.5%	26.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
妊婦歯科健康診査は、妊婦に対して歯周疾患を早期に発見し、適切な保健指導及び口腔衛生に関する正しい知識の普及を行うことにより、妊婦及び胎児への健康保持増進を図ることを目的として、問診、歯科診察、結果説明、保健指導を行うものです。 今後も、妊娠期から口腔衛生に関する啓発を行い、出産後も母子ともに歯と口の健康意識を高めます。			健康課 ＜保健センター＞
32	乳幼児健康相談		継続
指標	対象者の相談率	現状値（H25）	目標値（H31）
		83.1%	88.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
乳幼児健康相談は、未就学の乳幼児を対象に、育児について身近に相談できる機会をつくり、乳幼児が心身ともに健康に育つことを目的として、問診、身体計測、育児相談、母乳相談、栄養相談、言語・心理および運動の発達相談を実施するものです。 今後も、春日部市保健センター、庄和保健センターにおいて、保護者の不安解消、乳幼児への適切な対応を行います。			健康課 ＜保健センター＞
33	4 か月児健康診査		継続
指標	受診率	現状値（H25）	目標値（H31）
		96.7%	97.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
4 か月児健康診査は、4 か月から5 か月未満の乳児を対象に、先天異常、中枢神経系の異常、整形外科的疾患や発育発達の遅れの早期発見および健康の保持増進を図るため、市内の医療機関において、発育栄養状態、神経・運動機能の発達検査などの健康診査を実施するものです。 今後も、かすかべびーず訪問において4 か月児健康診査の必要性を説明しながら受診勧奨につなげます。			健康課 ＜保健センター＞
34	10 か月児健康診査		継続
指標	受診率	現状値（H25）	目標値（H31）
		95.5%	96.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
10 か月児健康診査は、9 か月から1 歳未満の乳児を対象に、ハイハイなど運動面の発達や離乳食完了期と栄養面においての指標から、異常の早期発見や育児支援を行うとともに、児が心身ともに健康に育つことを目的に、問診、身体計測、内科診察、栄養指導、保健指導を実施するものです。 今後も、未受診者に対して保健師が、電話・ハガキ・訪問などにより受診勧奨を行います。			健康課 ＜保健センター＞

35	1歳6か月児健康診査		継続
指標	受診率	現状値（H25） 96.3%	目標値（H31） 97.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
1歳6か月児健康診査は、1歳6か月から2歳未満の幼児を対象に、歩行や発語、言語理解などの獲得を指標として、異常の早期発見や健康の保持増進を目的とし、身体計測、内科診察、歯科診察、栄養指導、保健指導、心理相談、ブラッシング指導を実施するものです。 今後も、未受診者に対して、母子保健推進員や保健師が家庭訪問などによる受診勧奨を行うとともに、育児状況を確認します。			健康課 ＜保健センター＞
36	1歳6か月児健康診査歯科指導		新規
指標	むし歯のない1歳6か月児の割合	現状値（H25） 98.8%	目標値（H31） 99.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
1歳6か月児健康診査歯科指導は、1歳6か月児健康診査時に、むし歯のある幼児の保護者に対して、ブラッシング指導および保健指導を行うものです。 今後も、引き続き、むし歯のある幼児の保護者に対して、ブラッシング指導および保健指導を行います。			健康課 ＜保健センター＞
37	1歳6か月児健康診査2次指導（親子教室）		継続
指標	対象者の継続受講率	現状値（H25） 91.3%	目標値（H31） 100%
事業概要および今後の方向性			担当課
1歳6か月児健康診査2次指導（親子教室）は、1歳6か月児健康診査後、言葉の遅れもしくは社会情緒的発達面での遅れなどが疑われる幼児、また療育上問題があると思われる保護者および幼児に対し、適切な援助を行い、幼児の適切な発達を促すとともに、保護者同士の交流の場を提供するものです。 今後も、引き続き、療育上問題があると思われる保護者および幼児に対し、適切な援助を行います。			健康課 ＜保健センター＞
38	3歳5か月児健康診査		継続
指標	受診率	現状値（H25） 93.1%	目標値（H31） 95.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
3歳5か月児健康診査は、身体発育および精神面の発達が著しく、精神発達の遅れや弱視、難聴といった身体的機能の異常の発見が可能となってくる、3歳5か月から4歳未満の幼児を対象に、問診、身体計測、内科診察、歯科診察、尿検査、眼・耳に関するアンケート、栄養指導、保健指導、心理相談、ブラッシング指導を行うものです。 今後も、未受診者に対して、母子保健推進員や保健師が家庭訪問などによる受診勧奨を行うとともに、育児状況を確認します。			健康課 ＜保健センター＞

39	3歳5か月児健康診査歯科指導		新規
指標	むし歯のない3歳児の割合	現状値（H25） 81.7%	目標値（H31） 85.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
3歳5か月児健康診査歯科指導は、3歳5か月児健康診査時に、むし歯のある幼児の保護者に対して、ブラッシング指導および保健指導を行うものです。 今後も、引き続き、むし歯のある幼児の保護者に対して、ブラッシング指導および保健指導を行います。			健康課 ＜保健センター＞
40	3歳5か月児健康診査2次指導（幼児教室）		継続
指標	対象者の継続受講率	現状値（H25） 91.9%	目標値（H31） 100%
事業概要および今後の方向性			担当課
3歳5か月児健康診査2次指導（幼児教室）は、3歳5か月児健康診査後、全体的な発達の遅れなどが疑われる幼児、また療育上問題があると思われる保護者および幼児に対し、適切な援助を行い、幼児の適切な発達を促すとともに、保護者同士の交流の場を提供するものです。 今後も、引き続き、療育上問題があると思われる保護者および幼児に対し、適切な援助を行います。			健康課 ＜保健センター＞
41	ゴミニケーション・健康情報カレンダーによる情報提供		継続
指標	発行部数	現状値（H25） 107,000部	目標値（H31） 110,000部
事業概要および今後の方向性			担当課
ゴミニケーション・健康情報カレンダーによる情報提供は、各世帯に配布しているゴミニケーション・健康情報カレンダーに、乳幼児健康診査や予防接種、市内医療機関一覧などの情報を掲載し、子どもの健康に関する情報を提供するものです。 今後もわかりやすい紙面づくりに取り組むとともに、必要な情報を全ての家庭に提供できるよう、努めていきます。			健康課
42	保健センターの充実		継続
指標	来館者数	現状値（H25） 38,522人	目標値（H31） 42,300人
事業概要および今後の方向性			担当課
保健センターは、健康づくり支援の事業拠点として、各種事業を行う施設です。事業内容は健康増進事業（各種がん検診・健康教育・健康相談など）、母子保健事業（母子健康手帳の交付・乳幼児健康診査・相談など）、精神保健事業です。 今後も、引き続き、健康づくり支援を行うため、健康管理体制の強化や健康増進のための事業拠点として、保健センターの整備・充実を図ります。			健康課 ＜保健センター＞

②健康教育の支援

43	両親学級（ママパパ学級）		継続
指標	受講率	現状値（H25）	目標値（H31）
		92.0%	95.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
両親学級（ママパパ学級）は、出産を迎える妊婦およびその夫に対し、妊娠、分娩、栄養、育児、および歯科についての講義、赤ちゃんのお風呂の入れ方、妊婦体操、母乳ケアの実技指導を行うものです。 今後も、妊娠、分娩および育児についての知識と技術を提供し、必要に応じて健康相談を行うことで、安心して出産・育児が迎えられるよう支援します。また、仲間づくりの場としても活用します。			健康課 ＜保健センター＞
44	初孫教室		継続
指標	受講者数	現状値（H25）	目標値（H31）
		94 人	100 人
事業概要および今後の方向性			担当課
初孫教室は、初孫を迎える祖父母へ、最近の育児情報、赤ちゃんのお風呂の入れ方の技術指導、離乳食・おやつについて試食・実技指導を行うものです。 今後も、育児で悩む子ども夫婦のよき理解者、支援者となり、子ども夫婦と協力し合い楽しんで育児を行えるよう、祖父母に最近の育児情報を提供します。			健康課 ＜保健センター＞
45	乳幼児応急手当講習会		継続
指標	受講者数	現状値（H25）	目標値（H31）
		140 人	160 人
事業概要および今後の方向性			担当課
乳幼児応急手当講習会は、乳幼児の事故予防の啓発をすることで、保護者が未然に事故を防ぐことができ、また、家庭内の不慮の事故の応急手当ができるよう、乳幼児に対する心肺蘇生法などの講習を実施するものです。 今後も、引き続き、乳幼児の事故防止を図ることができるよう、乳幼児応急手当講習会を開催します。			健康課 ＜保健センター＞
46	子育て支援講座出産編の実施		継続
指標	受講率	現状値（H25）	目標値（H31）
		45.0%	95.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
子育て支援講座出産編は、妊産婦へ出産・育児に関する情報を提供し、安心して出産・子育てができるよう支援するものです。 今後も、春日部地区助産師会と共催で子育て支援講座出産編を開催し、安心して出産・子育てができるよう支援します。			市民参加推進課 ＜ハーモニー春日部＞

③訪問指導による育児支援

47	かすかべびーず訪問（乳児家庭全戸訪問事業） 《地域子ども・子育て支援事業》		継続
指標	訪問実施率	現状値（H25）	目標値（H31）
		92.3%	95.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
かすかべびーず訪問（乳児家庭全戸訪問事業）は、子育て支援のため、母子保健推進員、保健師などが生後2か月頃の赤ちゃんのいる家庭を全戸訪問し、母子の様子を確認しながら、子育てに関する相談や子育て支援の情報提供を行うものです。また、訪問時に4か月児健康診査票などを説明しながら手渡し、受診勧奨に努めるものです。 今後も、引き続き、子育てに関する情報提供と不安や悩み解消のため、訪問を実施します。			健康課 ＜保健センター＞
48	妊婦産婦訪問		継続
指標	対象者の訪問実施率	現状値（H25）	目標値（H31）
		97.7%	100.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
妊婦産婦訪問は、妊娠中の不安を抱える妊婦、育児不安を持つ産婦へ、疾病予防や異常の早期発見など、適切な対処の方法について、保健師・助産師などが妊産婦訪問指導を行うものです。 今後も、引き続き、対象者について適切な訪問指導を実施します。			健康課 ＜保健センター＞
49	未熟児訪問		継続
指標	訪問実施率	現状値（H25）	目標値（H31）
		93.3%	95.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
未熟児訪問は、未熟児を育てる家庭へ保健師、助産師などの専門職が家庭訪問を行い、保護者の精神的な負担感の軽減を図るとともに、未熟児の健康状態の把握を行い、必要な助言を行うものです。 今後も、引き続き、対象児について適切な助言を実施します。			健康課 ＜保健センター＞
50	新生児訪問		継続
指標	希望者の実施率	現状値（H25）	目標値（H31）
		97.7%	100.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
新生児訪問は、新生児を育てる家庭へ保健師、助産師などの専門職が家庭訪問を行い、保護者の精神的な負担感の軽減を図るとともに、新生児の健康状態の把握を行い、必要な助言を行うものです。 今後も、引き続き、新生児の健康な発育と母親への育児支援を目的として、希望のあった家庭へ訪問指導を行います。			健康課 ＜保健センター＞

2－2．心身を育む食育の推進

（１）現状と課題

乳幼児期からの正しい食事の摂り方や望ましい食習慣の定着および食を通じた豊かな人間性の形成・家族関係づくりによる心身の健全育成を図るため、教育分野をはじめとするさまざまな分野が連携し、食に関する学習や情報提供を進めるとともに子ども参加型の取組や親子による食事づくりを進めています。

書籍やインターネットなどが普及したことや学校においても保護者に対して給食だよりなどを配布していることから、誰もが容易に食に関する情報を取得しやすくなっていますが、食の安全への関心の高まりにより、これまで以上にきめの細かい情報提供と内容の充実が課題となっています。

（２）基本方針

乳幼児期からの正しい食事の摂り方や望ましい食習慣の定着および食を通じた豊かな人間性の形成・家族関係づくりによる心身の健全育成を図るため、保健分野や教育分野をはじめとするさまざまな分野が連携しつつ、乳幼児期から思春期まで発達段階に応じた食に関する学習の機会や情報提供を進めるとともに、公共施設の調理室などを活用した食事づくりなどの体験活動や子ども参加型の取組を進めます。

(3) 事業の方向性

①食に関する情報提供・学習機会の実施

51	保育所給食		継続
指標	実施箇所数	現状値 (H25)	目標値 (H31)
		9 か所	8 か所
事業概要および今後の方向性			担当課
保育所給食は、保育の中で、子どもたちが毎日の食べ物について、どのように調理されているかを見たり、匂いをかいだりすることにより、食への関心を育み、心身ともに健康な生活ができる力を培うものです。また、保護者にも「給食だより」などによる情報の提供を行うものです。 ※平成 27 年度に公立保育所の統合により 1 か所減となりますが、今後も提供する内容は変わらず、事業の充実を図ります。			保育課
52	保育所食育		継続
指標	実施回数	現状値 (H25)	目標値 (H31)
		12 回	20 回
事業概要および今後の方向性			担当課
保育所食育は、地産地消の推進に取り組み、自分たちの食べるものがどこからやってくるのか、また、園庭で育てた野菜を給食にとり入れることで、食材の理解を深めるものです。また、地場産品も取り入れ、郷土の食材への理解を深めるものです。 現在は食育の日を取り入れたり、収穫体験を行ったりしていますが、今後は事業の実施回数を増やすなど、検討していきます。			保育課
53	クッキング保育		継続
指標	実施回数	現状値 (H25)	目標値 (H31)
		8 回	16 回
事業概要および今後の方向性			担当課
クッキング保育は、食育の一環として、食材に興味を持ってもらうために、園庭で育てた野菜や季節の食材を使い、子どもたちで調理の一部を行う「クッキング保育」を年に 1 回程度実施するものです。 今後も、引き続き、回数の増加などを検討していきます。			保育課
54	離乳食教室		継続
指標	受講率	現状値 (H25)	目標値 (H31)
		28.4%	29.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
離乳食教室は、離乳食作りの正しい情報を提供することで育児不安を解消し、同じ月齢の乳児をもつ母親が孤立することのないよう、交流の機会を設けることを目的に、講話、試食提供、交流会を実施するものです。 今後も、離乳食作りの情報を提供するとともに、母親間の交流の機会を設けます。			健康課 ＜保健センター＞

55	食の健康教育		継続
指標	受講者数	現状値（H25）	目標値（H31）
		1,018 人	1,060 人
事業概要および今後の方向性			担当課
食の健康教育は、子どもが健やかに成長できるよう、食の正しい情報を提供し、おいしく楽しく食べる意欲を育て、適切な食習慣を身につけることを目的に各ライフステージに合わせて実施するものです。 今後も、ママパパ学級、離乳食教室、出前講座で食の正しい情報を提供し、食育を推進します。			健康課 ＜保健センター＞
56	学校給食		継続
事業概要および今後の方向性			担当課
学校給食は、学校栄養職員による「食に関する指導」や、児童生徒のアレルギーへの対応、地産地消の推進など、食育の充実を図るものです。 今後も、市内の全小中学校において、学校給食を核とした食育の充実を図るとともに、引き続き、アレルギー対応研修会などを開催します。			学務課 指導課
57	親と子の料理教室		継続
指標	受講率	現状値（H25）	目標値（H31）
		90.0%	95.0%
事業概要および今後の方向性			担当課
親と子の料理教室は、子どもと親が参加する「親と子の料理教室」の実施や、ハーモニー春日部で年1回開催される「ハーモニーフェスタ」においても親子を対象にした食事づくりを行うものです。 今後も、親子で参加できる料理教室を開催し、食育を推進します。			市民参加推進課 ＜ハーモニー春日部＞

2－3．思春期の健康教育の充実

(1) 現状と課題

ソーシャルネットワークサービス（SNS）の普及などにより、性に関する情報が多い状況の中で、誤った知識を持った若者も多く、悲しい事件は後を絶ちません。思春期における心身の健康の向上には、正しい知識や態度を身につけるなど、学校教育との連携を確保する必要があります。

思春期においては、興味本位に喫煙や薬物に手を出すことにより習慣化してしまうことが多く、引き続き正しい知識を普及・啓発することが重要となっています。

(2) 基本方針

10代の人工妊娠中絶、性感染症罹患率の増大などの問題に対応するため、性に関する健全な意識を醸成し、あわせて性や性感染症予防に関する正しい知識の普及を推進します。

また、喫煙や薬物などに関する教育、学童期・思春期における心の問題および地域における相談体制の充実などを進めます。

(3) 事業の方向性

①性や性感染症予防および喫煙・薬物乱用に関する知識の普及

58	思春期の知識の普及		継続
指標	思春期に関するリーフレット配布数	現状値（H25）	目標値（H31）
		560 枚	600 枚
事業概要および今後の方向性			担当課
思春期の知識の普及として、市内の高校生を対象に思春期の健康管理、性や性感染症予防に関する知識の普及を図るため、リーフレットを配布しています。今後も、引き続き、啓発に努めます。			健康課 ＜保健センター＞
59	未成年者飲酒・喫煙防止キャンペーン		継続
指標	リーフレット配布数	現状値（H25）	目標値（H31）
		8,000 枚	10,000 枚
事業概要および今後の方向性			担当課
未成年者飲酒・喫煙防止キャンペーンは、市内の酒およびたばこ小売組合が、未成年者の健全な育成の一助とするため、駅頭にて「未成年者飲酒・喫煙防止キャンペーン」を行うものです。実施に際しては、市をはじめ市教育委員会、春日部警察署、春日部税務署などが後援・支援を行うほか、市内の高校生の協力を得て、キャンペーン用チラシ・ティッシュを配布しています。 また、成人式の参加者へリーフレットを配布するものです。 今後も、引き続き、啓発に努めます。			健康課 社会教育課
60	保健体育・健康教育		継続
事業概要および今後の方向性			担当課
保健体育・健康教育は、小中学校における保健体育・健康教育をとおして、性に対する正しい知識などを身につけていくことを推進するものです。 現在、市内の全小中学校において性に関する教育を実施しており、今後も引き続き、計画的・継続的な指導を行います。			指導課
61	学校における健康教育		継続
事業概要および今後の方向性			担当課
学校における健康教育は、全小中学校における健康教育をとおして、喫煙や薬物の防止などに関する教育を推進するものです。 現在、市内の全小中学校において喫煙・薬物防止教育を実施しており、今後も引き続き、子どもの心に響く健康教育となるよう工夫・改善を図ります。			指導課

2－4．地域で支える小児医療の充実

(1) 現状と課題

入院・手術を必要としない、比較的軽症である、15 歳未満の救急患者を対象に、市立病院内敷地にある健診センターにて、市内の小児科医師等による夜間診療を平日のみ実施しています。しかし、土日休日は在宅当番医が日中に診療を行っているものの、夜間診療は実施していない状況です（小児一次救急）。

また、入院・手術の必要な小児の救急患者を対象に、埼玉県東部南地区の6市1町（春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町）で、病院群輪番制を実施し、診療を行う体制を確保していますが、小児を対象とする病院群輪番制参加病院が少ないことが課題となっています（小児二次救急）。

(2) 基本方針

小児救急医療体制の充実のため、小児一次救急については、土日休日の夜間診療を実施できるよう、医師会ほか関係機関と連携し実現に向けて取り組むとともに、在宅当番医の運営及び支援の充実を図ります。

また、小児二次救急については、引き続き病院群輪番制への支援を行うとともに、参加病院増に向けた取組を東部南地区の6市1町と連携して実施します。

(3) 事業の方向性

①小児医療の確保・充実

62	小児救急平日夜間診療部の運営		継続
指標	診療日数	現状値（H25）	目標値（H31）
		244 日	365 日
事業概要および今後の方向性			担当課
小児救急平日夜間診療部の運営は、15 歳未満の救急患者を対象に、かかりつけ医療機関が終了した後に容態が急変し翌日までに緊急な治療が必要な場合に、一次救急医療として内科の診療を実施するものです。 今後は、土日休日の夜間にも診療を実施し、小児一次救急医療体制の充実を図ります。			健康課
63	小児救急医療支援事業		継続
指標	市内の参加病院数	現状値（H25）	目標値（H31）
		1 病院	1 病院
事業概要および今後の方向性			担当課
小児救急医療支援事業は、緊急入院・手術の必要な小児の救急患者を対象に、埼玉県東部南地区の6市1町（春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町）で実施している病院群輪番制において二次救急医療として診療を行うものです。 今後も、現在の体制を維持するとともに、新たな参加を促すため、医療機関への働きかけを行います。			健康課
64	在宅当番医制運営事業		継続
指標	小児を診療する医療機関の数（1日あたり）	現状値（H25）	目標値（H31）
		1 医療機関	1 医療機関
事業概要および今後の方向性			担当課
在宅当番医制運営事業は、救急患者を対象に、休日昼間における急な発熱などの病気やけがの診療を、初期救急医療として市内の医療機関が交代で実施するものです。 今後も、休日昼間に小児科を受診することができる体制を維持します。			健康課